

2012年11月2日

財団法人 Karuizawa New Art Museum

画業 50 周年—気韻生動— 大藪雅孝展

2013年1月2日(水)～2013年2月3日(日)

Karuizawa New Art Museum 2013年新春の企画展覧会、《画業 50 周年—気韻生動—大藪雅孝展》を開催いたします。

大藪雅孝は1937年に京城（現ソウル）に生まれ、5歳から高校時代までを香川県で過ごしています。1960年に東京藝術大学美術学部工芸科を卒業、しばらく精工舎などに勤務したのち、1964年に母校に戻り、東京藝術大学美術学部工芸科基礎デザイン研究室助手に就任しました。美術学部工芸科は1975年に工芸科とデザイン科に分かれ、大藪はデザイン科の主任教授として半世紀にわたり画業と同時に後進の育成に邁進してきました。日本における“デザイン”の価値を見直し、世界的視野でその復権・再構築を目指した大藪。大藪の指導を受けた学生たちの多くが、狭義のデザインの枠を超えて活躍しています。

本展覧会は、大藪雅孝の画業 50 年における円熟期の作品にスポットを当て、大藪雅孝の“デザイン”思想を展覧し、その現代的意義を再考する機会となります。

「現代美術とは適確な現状認識に基づき現今に対し近未来に向け、よりよき社会になる為の問題意識をもった作品を指し、形式やファッション性で決めるものではない」と語る大藪雅孝。大藪が追求してきた美意識、日本のこころ、そして美術の可能性を、重厚な作品からじっくりと味わっていただけることでしょう。

なお、2月8日(金)から3月31日(日)は、大藪雅孝と、大藪の指導を受けた有元利夫、澁澤卿、宮廻正明の3人を加えた4人による展示となります。大藪雅孝のデザイン思想の根源を照射し、その継承をたどる貴重な機会をどうぞお楽しみください。

*『大藪雅孝|作品集 2000-2012』(2012年6月、軽井沢ニューアートミュージアム)より

KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM
Whitestone Art Foundation

主な出品作品



①《水面》 1987年
ミクストメディア 60.6×72.7 cm



②《扉 53》 2001年
ミクストメディア 100.0×80.3 cm



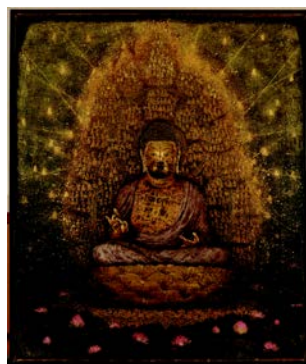
③《御嶽の流》 2003年
ミクストメディア 86.3×162.3 cm



④《松樹千年翠》 2009年
ミクストメディア 130.3×97.0 cm



⑤《旭日懸崖松》 2010年
ミクストメディア 97.0×130.3 cm



⑥《蓮華蔵界大光明》 2011年
木・ミクストメディア 165.0×140.3 cm

大藪雅孝略歴

大藪雅孝（おおやぶ まさたか 1937-）

- 1937年 京城（現韓国・ソウル）生まれ。高校時代までを香川県で過ごす。
- 1960年 東京藝術大学美術学部工芸科図案計画専攻を卒業。
- 1962年 第6回シェル美術賞展佳作。
- 1979年 第1回明日への具象展（日本橋高島屋）招待出品。
- 1982年 東京藝術大学美術学部デザイン科助教授に就任。
作品制作を精力的におこなうかたわら、後進の指導にあたる。
- 1989年 第6回横の会展（京都市美術館）招待出品。
- 1990年 東京藝術大学美術学部教授に就任。
- 1991年 現代日本絵画展（故宮博物院、中国・北京）実行委員として訪中。
- 1998年 大藪雅孝展《浸透するまなざし》（天満屋八丁堀店、上野の森美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、大阪心齋橋大丸を巡回、1999年まで）開催。
- 2004年 東京藝術大学を退官。
東京藝術大学美術館で退官記念展《芸術の土台と骨格はデザインに在る》開催。
- 2010年 ロシア・モスクワの国立美術館で開催の《一現代日本絵画—日本の美展》出品。
ロシアアートアカデミーの会員に推挙される。

その他個展、グループ展等多数

現在 東京藝術大学名誉教授

開催情報

- ◇展覧会名 画業 50 周年—気韻生動—大藪雅孝展
- ◇会 期 2013 年 1 月 2 日（水）～2013 年 2 月 3 日（日）
※特別内覧会：2013 年 1 月 2 日（水）
- ◇会 場 Karuizawa New Art Museum 第 1～6 展示室（2 階）
〒389-0102
長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5
- ◇開館時間 午前 11 時～午後 5 時（入館は 30 分前まで）
- ◇休 館 日 毎週火曜日・水曜日・木曜日
※1 月 2 日（水）、1 月 3 日（木）は開館
- ◇観 覧 料 一般：1000 円、65 歳以上・高大生：800 円、中小生：500 円
※20 名以上の団体で来館の場合、上記各入館料の 200 円引き
※未就学児無料
- ◇主 催 Karuizawa New Art Museum
- ◇後 援 長野県、長野県教育委員会、軽井沢町、信濃毎日新聞社、産経新聞社(長野支局)、軽井沢新聞社、軽井沢ニュース舎、KIAC(軽井沢国際芸術文化都市推進協議会)、東京藝術大学社会連携センター

関連情報

【特別内覧会】

日時：2013年1月2日（水）午後1時～

会場：Karuzawa New Art Museum

内容：記者会見、テープカット、展示内覧会他（予定）

※内覧会は完全招待制となります。（要招待状）

プレスの方で参加ご希望の方は、下記問合せ先までご連絡ください。

【関連イベント・プログラム】

・ キュレーターによるギャラリートーク

2013年1月27日（日）午後2時～午後2時30分

参加無料（要展覧会チケット）

・ ワークショップ『ちょっとオオヤブ的に…』

2013年1月13日（日）午後2時30分～約1時間半程度

小さいけれど厚みのある絵と一緒に描いてみませんか？汚れても良い服装でご参加を。

参加無料（要展覧会チケット・定員6名）

【図録】

『大藪雅孝 | 作品集 2000-2012』

予価 2,000円 | 2013年1月2日（水）発売

【関連展覧会】

東京藝術大学デザイン科出身 4つの個展 一宮廻正明・澁澤卿・有元利夫・大藪雅孝—

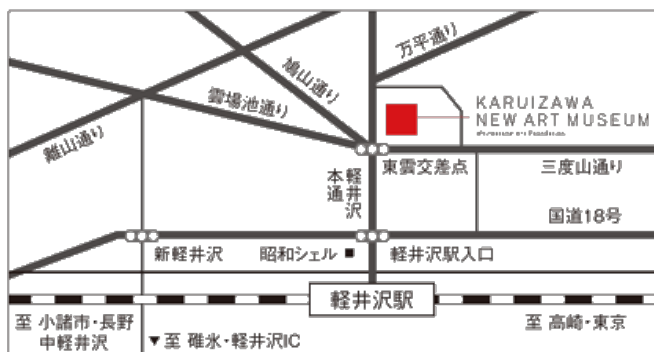
2013年2月8日（金）～2013年3月31日（日）

KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM

Whitestone Art Foundation

【交通案内】

JR 東日本・しなの鉄道「軽井沢駅」北口から徒歩約7分



【プレス画像】

本展広報用として、6点の図版がございます。

掲載ご希望の方は別紙申込シートにて、ご希望の図版番号をお知らせください。

【お問い合わせ先】

Karuizawa New Art Museum (軽井沢ニューアートミュージアム)

TEL: 0267-46-8691 / FAX: 0267-46-8692

〒389-0102

長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1151-5

pr@knam.jp

KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM
Whitestone Art Foundation

画業 50 周年—気韻生動— 大藪雅孝展

財団法人 Karuizawa New Art Museum 広報課宛

FAX: 0267-46-8692 / E-mail: pr@knam.jp

本展覧会広報用素材として、作品画像 6 点をご用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、ファックス又は E メールにてお申込みください。なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、クレジットを必ず表記ください。
- ② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。

※本展記事を紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為に校正、掲載誌（紙）、DVD、CD 等をお送りください。

媒体名：	種別： <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> 新聞 <input type="checkbox"/> 雑誌 <input type="checkbox"/> フリーペーパー <input type="checkbox"/> ネット媒体 <input type="checkbox"/> 携帯媒体 <input type="checkbox"/> その他（ ）	発売・放送予定日： 年 月 日
御社名：	ご担当者名：	電話番号：
FAX 番号：	ご住所：	メールアドレス： @

図版番号：

- ① 水面 1987 年 ミクストメディア 60.6×72.7 cm
- ② 扉 53 2001 年 ミクストメディア 100.0×80.3 cm
- ③ 御嶽の流 2003 年 ミクストメディア 86.3×162.3 cm
- ④ 松樹千年翠 2009 年 ミクストメディア 130.3×97.0 cm
- ⑤ 旭日懸崖松 2010 年 ミクストメディア 97.0×130.3 cm
- ⑥ 蓮華蔵界大光明 2011 年 木・ミクストメディア 165.0×140.3 cm

KARUIZAWA
NEW ART MUSEUM

Whitestone Art Foundation